

行政懇談会意見交換資料

平成19年2月

日吉津上2の取り組み事例を参考に 防災について考えてみませんか

災害時には役場をはじめ行政機関がその対応に当たるのは当然ですが、発生直後には一人ひとり、隣近所そして自治会やコミュニティなどで自ら早急な対応が求められます。そのため、あらかじめ災害時での対策を検討することは、災害時の応急対応を的確かつ迅速に実施することが出来、被害を最小限に食い止める有効な方法となります。

村では昨年より日吉津上2自治会にお願いし、災害時の住民の対応について、自主防災委員会や見守りコミュニティ推進委員会、自治会役員等の方々と日吉津上2自治会の「住民避難マニュアル」について検討されました。20回近くの会議を行い、今、地震を中心にした住民避難マニュアルがほぼ完成に近づいています。

災害時には「みんなで協力し、助け合う」ことが必要なことは皆さん誰も考えていらっしゃると思いますが、具体的に「自治会ではどうするのか」というような方針が日吉津上2自治会ではつくられたと考えております。

災害に備えるには、大きな災害を想定し、それを克服するための一定のルール約束を決めておきますと、いざというときに大きな力になります。

そこで今年の行政懇談会では、昨年に引き続き、大きな災害が発生した場合にどうしたら地域の安全・安心が守れるか、お互いに安全・安心の確保していくのかについて日吉津上2の事例を参考に意見交換をしたいと考えています。

- 1 自分は既に、こんなことをやっている
- 2 災害時の対応はどうしたらよいか
- 3 自治会でどう対応すべきか

など皆さんと一緒に検討していきたいと思います。



ご紹介:日吉津上2の取り組み

- ◎非常時の対応手順書シート（災害時の対応手順を記載）・・・・・・・・ P2,3
- ◎地震直後の心得10か条（地震時の対応を記載）・・・・・・・・ P4
- ◎避難の心得10か条（避難時心得を記載）・・・・・・・・ P5
- ◎日上2災害対策本部組織図・・・・・・・・ P6
- ◎各担当の役割・・・・・・・・ P7
（災害対策本部の各担当の役割、仕事の手順を記載）
- ◎日上2防災マップ・・・・・・・・ P8
（災害発生時の防災施設や医療機関などの位置を図示）
- ◎日上2自治会安全確認シート・・・・・・・・ P9
（災害発生時に安否確認をするため一次集合場所に集合、そのときの被害状況等を記載。避難が必要な場合は日上2公民館に避難。）
- ◎避難者名簿・・・・・・・・ P10
（日上2公民館の避難者名簿。被災情報の整理のため使用）

災害はいつか必ず起こります。それが何時かはだれもわかりません。そのとき自分や家族、地域を守ることが出来るように皆さんと一緒に考えて行きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



非常時の対応手順シート

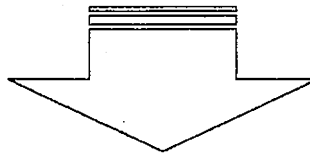
(□にチェックを)

- * 地震発生直後からの対応手順を申し合わせたものです。
- * 日上2自治会として、災害直後から概ね2～3日の避難・救助等を想定して、作成しています。
- * 災害の状況によって、手順は変わる場合があります。

地震発生（直後）

- まず、自分の身を守る ☐
- 家族の安全確認 ☐
- ガス等の火を消す・元栓締める ☐
- 電気のスイッチ、ブレーカー確認 ☐

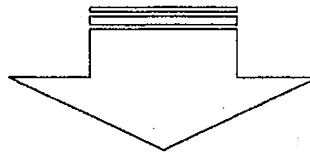
* 参考：地震直後の心得 10 か条



一次集合場所へ （近所の安否確認）

- 一次集合場所へ集まる ☐
- 各世帯の安否確認 ☐
- 安全確認シートの作成 ☐
- 災害弱者（世帯）の安否確認 ☐

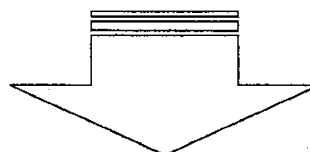
* 参考：避難 10 箇条・日上2 防災マップ・安全確認シート



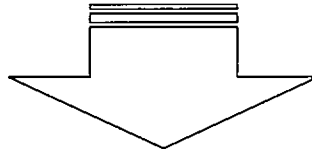
消火・救助 （近所の初期消火 や救助対応）

- 付近の出火確認と初期消火 ☐
- 付近の被災者の救助対応 ☐
- ・ 付近の事業所との連携 ☐
- ・ 自治会長等への連絡 ☐

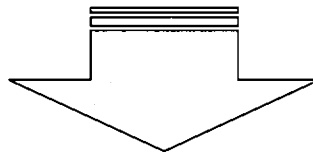
* 参考：災害時協力事業所資機材器材一覧



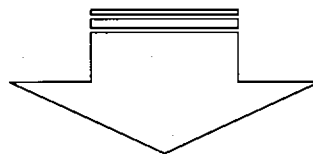
「日上2災害対策本部」の設置	「日吉津上2災害対策本部」の設置	☐
	・本部体制、人員の配置	☐
	・被害状況の集約	☐
	・村対策本部（役場）との連携	☐
*参考：日上2災害対策本部組織図		



救助・避難誘導	救助活動	☐
	避難誘導	☐
	被災者受入体制	☐
	・事業所等からの機器調達	☐
	・その他、必要備品・物資の調達	☐



避難所の設置	上2公民館に避難所開設	☐
	・必要機器・物資の調達	☐
	村本部（役場等）との連絡体制の確立	☐
	地区住民への情報伝達の強化	☐
	ボランティア受け入れ体制の確立	☐



避難生活の援助	被災者及び住民への支援体制の確立	☐
	・心のケア等の対応	☐
	・日常生活への相談・支援対応	☐
	・その他避難生活等の長期化対応	☐

地震直後の心得 10か条

① わが身と家族の安全を守る

大きな地震の揺れは、1分以上。丈夫なテーブルや机の下に身を隠し、頭を保護するようにする。

② 火が出たら、まずは消火

小さな火でも、大きな災害を生む。小さな地震でも火を消す習慣をつけておく。

③ 戸や窓を開けて出口を確保

とくに中高層住宅では、避難のための出口確保が重要。できれば2カ所以上は確保しておく。

④ あわてて外に飛び出さない。

むやみに外へ飛び出すのは危険。周囲の状況をよく確かめてから、落ち着いて行動する。

⑤ 狭い路地や塀際、がけ、川に近づかない。

屋外では、ブロック塀が倒れたり、窓ガラスや看板などが落ちてくる危険性が。頭を保護し安全な建物か近くの広場へ避難する。

⑥ 大型店では係員の指示に従う

大勢の人が集まるところでの災害はパニックを引き起こしがち。勝手に判断せず係員の指示に従い冷静に行動する。

⑦ がけ崩れ、津波に注意

がけ崩れが発生しそうな地域や海岸では、すばやく避難すること。

⑧ 避難は徒歩で、持ち物は最小限に

自動車を使うと、渋滞を引き起こし、消火・救援・救護活動のさまたげに。

⑨ 自動車は「左」によせて停車

カーラジオの情報により行動をとること。停車する時は左に寄せて。規制区間では運転をやめる。

⑩ あわてず、騒がず、落ち着いた行動を。

災害時は、デマなどにまどわされやすくなりがち。報道機関や市町村、消防・警察などからの情報に注意する。

避難の心得 10か条

① 避難の前に安全確認

避難する時は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、ライフライン復旧後の二次災害を防止する。

② 外に逃げるときはあわてずに

外に逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いて行動する。

③ ヘルメットや防災ずきんで頭を保護

ヘルメットや防災ずきんがなければ、座布団にヒモをつけたものなどで頭を保護し、落下物に注意しながら行動する。

④ 荷物は最上限のものに。

非常持ち出し品はリュックサックに入れて背負い、両手が使えるようにする。靴は底の厚い、はきなれたものを。

⑤ 外出中の家族には連絡メモを

外出中の家族がいるときは、避難場所をメモして目立つところに貼っておく。

⑥ 避難は徒歩で。車、バイクは厳禁

災害時に車で避難すると、かえって避難が遅れる。しかし、車で避難しなければならない場合は、避難勧告前に早めの避難を心がける。

⑦ お年寄り、子どもの手はしっかり握る。

災害時要援護者に対する心づかいを。家族が離ればなれにならないように、しっかりと手を握って避難する。

⑧ 近所の人と集団で。まず決められた集合場所に

避難は指定された避難場所へ。もし、避難場所以外のところへ避難したら、近所の人に連絡先を知らせる。

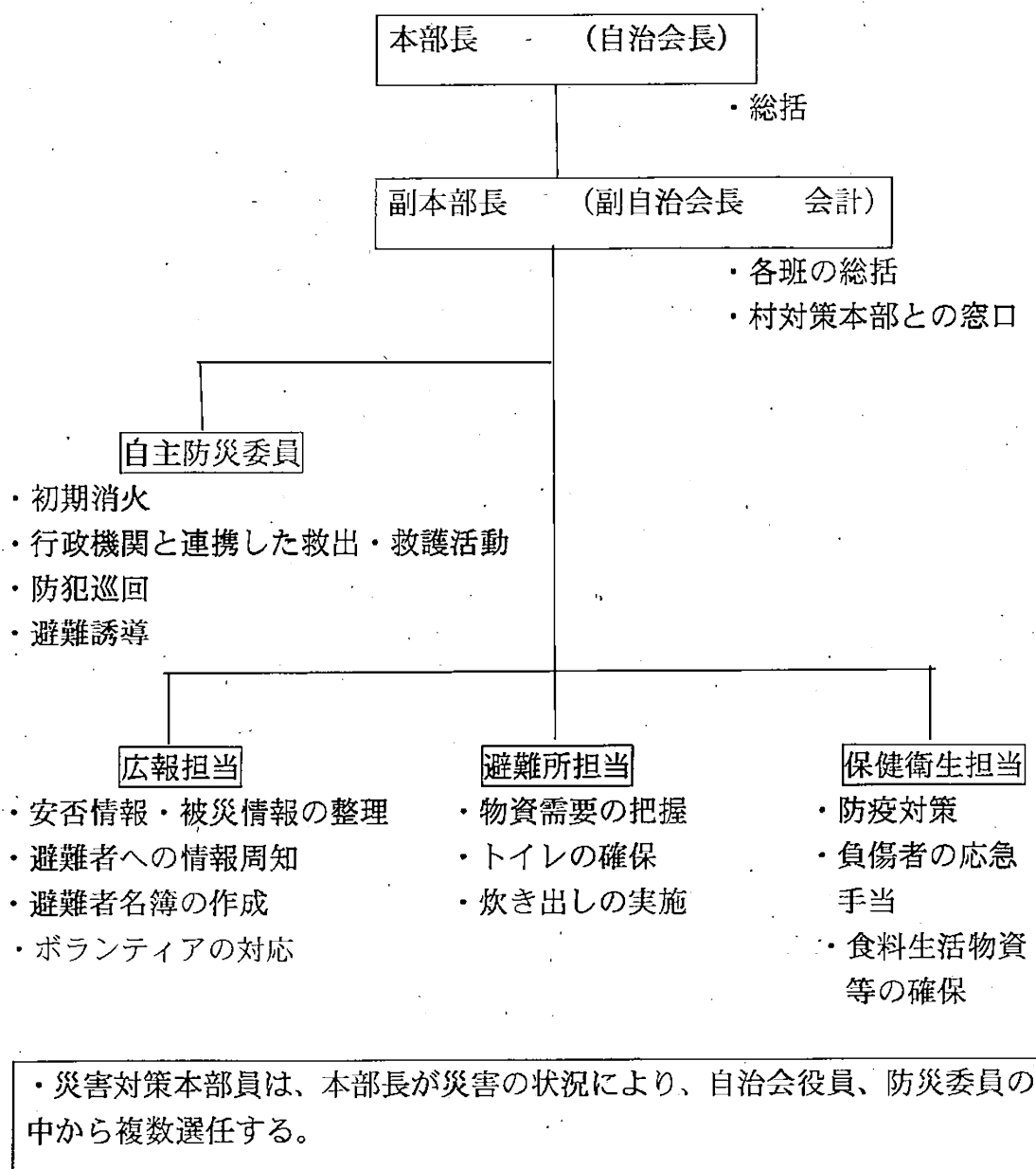
⑨ せまい道、塀ぎわ、川べりなどは、避けて避難

壁、門柱、自動販売機など倒れやすいものの近くは避ける。がけや川べりなど、崩れ落ちる可能性のある場所は避けて避難。

⑩ 協力しあって、救出・救護。

高齢者や身体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで助け合う。初期消火などもみんなが協力して行なう。

日上2 災害対策本部組織図

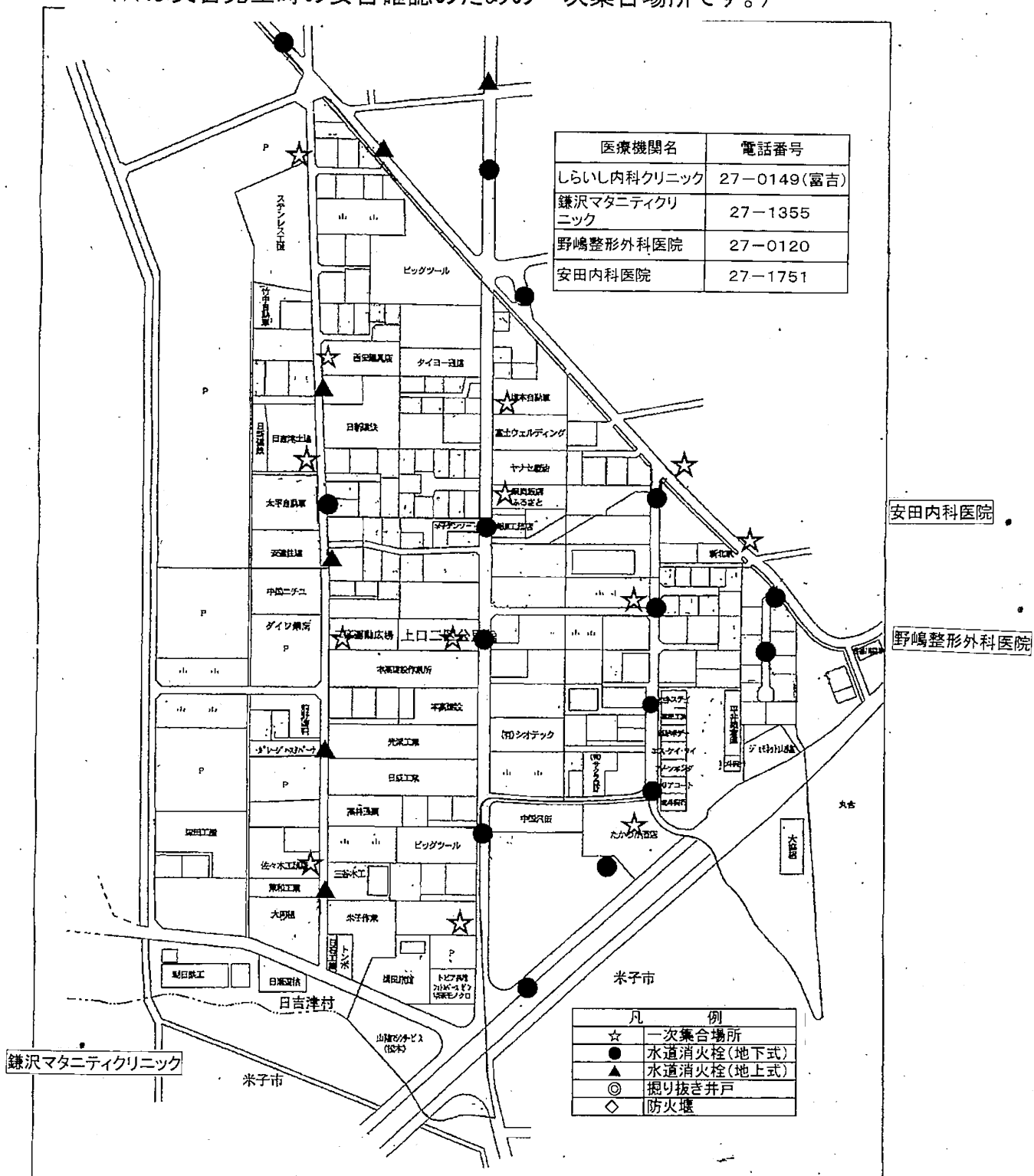


各担当の役割（仕事の手順）

	仕 事 内 容 ・ 手 順	関 連 事 項
広 報 担 当	①安全確認シートにより被害情報の把握 村の災害対策本部への被害状況報告 避難者名簿の整理、安否情報の整理	村対策本部との連携 避難者名簿、安否情報の更新
	②ボランティアの受入、必要性の把握 村、ボランティアセンターへの要員派遣要請 ボランティアへの現場案内	ボランティアセンターとの連携 ボランティアの食事、宿泊の確保
避 難 所 担 当	①食器、炊き出し備品の把握 避難者数等により必要な物資需要の把握 村、ボランティアセンターへの要員派遣要請 炊き出しの実施	備品の確認 掲示板を通じて情報の共有化 ペットへの対応
	②仮設トイレの確保 仮設トイレの設置	仮設トイレの場所の選定、確保
	③避難所の運営方法を決定する。(考える)	
保 健 衛 生 担 当	①負傷者の応急手当 負傷者の搬送(村救護所又は医療機関)	村の保健師、医療機関の連携 輸送手段の確保
	②食料物資等の必要量把握(日上2全体) 村災害対策本部への要員、物資の要請 食料、物資の配布	
	③災害時におけるそ族、昆虫対策のため村、保健委員、ボランティアと連携し罹災家屋便所の消毒を行う。	保健委員、村、ボランティアとの連携 要員、器財の確保
自 主 防 災 委 員	①初期消火 ②救出・救護 ③避難、誘導 ④借用資機材の管理 ⑤防犯巡回	消防団との連携 (平素の仕事)消火訓練の実施 防災機材の点検 事業所との連携

日上2防災マップ

(☆は災害発生時の安否確認のための一次集合場所です。)



日上2自治会 安全確認シート (災害直後の安全確認)

確認者:氏名

時刻: 月 日 時 分

No	氏 名 (世帯人数)	緊急時 連絡先	家族状況	家屋状況		家周りの状況	当面の対応
				倒壊等	電気等(○ ×をつける)		
例	上口二郎 (5人)	* 参照	二郎米子勤務、和男、 義男通学中。(確認 済)。花子、明子在宅、 無事。(花子は歩行が不 自由)	①問題無し 2一部損壊 3全壊	○1電気 ○2水道	ブロック塀の倒壊の 危険あり。液状化の 影響か、家の前の 電柱が傾いている。	○1自宅待機 2避難 (避難先)
1				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
2				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
3				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
4				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
5				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
6				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
7				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
8				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
9				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)
10				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道		1自宅待機 2避難 (避難先)

* 緊急時連絡先: 1人暮らしのお年寄などで、村外の親族等に連絡すべき先があれば電話番号等記入する。

避難者名簿

(月 日 時現在)

避難所名		開設期間		平成 年 月 日 時から 平成 年 月 日 時まで			
番号	住 所	氏 名	年齢	性別	収容日時	退所日時	備 考
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	
			歳	男・女	日 時 分	日 時 分	

※ この名簿は、日上2公民館に避難所を開設した場合の名簿で、日上2災害対策本部の広報担当が作成する。